

第36回

保・小・中・特・高

## 下諏訪町健全育成研究集会

# 生涯学習

No.537

かおり高い  
文化のまち

町校長会長 両角徹生挨拶

皆さん、おはようございます。いよいよ楽しい日がやってきました。今日は、この下諏訪で学んでいる子どもたちの頑張りを、みんなで確認したり、応援したりする日にしたいと思います。

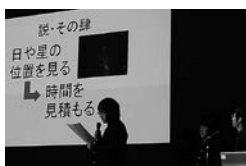


保小中特高の学びの成果を一堂に会して発表できるのは、下諏訪町にしかできません。本当にありがたいことです。各校の持ち時間は8分。この8分間に思いを込めて発表します。楽しみです。『下諏訪町の教育は、個の持っている良さを更に高め、生涯にわたる学びに繋げること』と松崎教育長先生は常にお話されています。今日はチャンスの日です。

今年から保育園の先生方も一緒に参加してください、発表の輪が一段と広まりました。昨年度の感想には「自分の目や耳で下諏訪町子どもたちの逞しさを感じる事ができました。またとない機会です。是非続けてください。」という声が多く寄せられました。一方で、保護者の皆さんの参加を更に呼びかけてとのアドバイスもいただきました。

町P連の皆さんのご協力もあり、本日は多くの皆さんが集まっていたいただきました。じっくり発表を聞かれて、応援やアドバイスをお願いします。発表者の皆さんも大いに頑張ってください。

### 会場小景



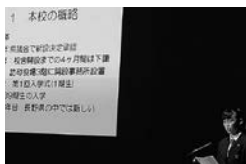
下諏訪中学校 P.13



下諏訪社中学校 P.13



花田養護学校 P.16



下諏訪向陽高校 P.17



下諏訪北小学校 P.14



ノース下諏訪ネットワーク P.16、17



みずべ保育園 P.14、15



下諏訪南小学校 P.15

発行 下諏訪町教育委員会  
編集 生涯学習  
編集委員会

〒393-8501  
長野県諏訪郡下諏訪町4611-40  
(下諏訪総合文化センター内)  
☎0266-27-1111(内線718)  
FAX 0266-28-0131  
E-mail=syougai@town.  
shimosuwa.lg.jp

## 下諏訪中学校

### 下諏訪活性化プロジェクト

地域との交流を深め、観光客の人たちに下諏訪町をより知ってもらうために、何ができるか考えて実践する講座です。

本年度は…・ホシスメバリノベーション（大規模な建物の改修）・伏見屋邸体験学習・三角八丁への出店の三つに取り組みました。

ホシスメバで協力隊の方から説明をうけました。



黒板いっぱいのアイデア



ホシスメバリノベーションでは、協力隊の方からお話を聞き、リノベーションのアイデアを出し合い、提案することができました。また宿泊体験学習では、下諏訪について楽しみながら学ぶことができました。11月3日の、三角八丁は、社の時間に作ったしおりやミサガを伏見屋邸で販売しました。当日お茶出しもしたのですが、その時に一緒にお菓子も出す計画を立て、下諏訪のお菓子屋さんからお菓子の提供を受けて、お客さんに出すことができました。多くのお客さんに来ていただき、大成功でした。

### 下諏訪活性化プロジェクトで学んだこと

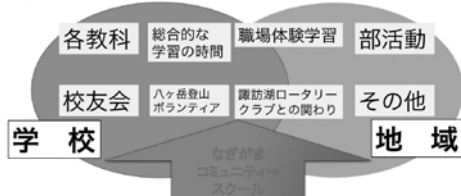
- ・地域の活動をそこに住む全員で取り組むことが大切。
- ・地域を活性化させるためには、私達一人ひとりが下諏訪のことを知り、魅力を発見することが大切だと感じた。
- ・全員でたくさんのアイデアを出し、地域興し協力隊に提案し、実現したことはすごいこと。



伏見屋邸で町長さんにお茶出し

## 下諏訪中学校

下諏訪中学校の行っている地域連携事業



下諏訪中学校では、なしがまコミュニティスクールを中心に、様々な地域連携事業を行っています。

教科学習では和装教室の先生をお迎えして着付けの授業を行っていただきました。地元の企業の方の協力のもと、様々な職場で体験学習も行うことができました。総合的な学習の時間“なしがま講座”では、雅楽・茶道・切り絵など、地域の方を講師として様々な学びを行ってきました。

今日はプレゼン講座とCM講座の発表をします。

### 各教科 家庭科 着物の着付け



プレゼン講座



### 職場体験学習



オルゴールと諏訪湖をテーマにCM制作

クイズ「時計の名前の由来？」などなど、ユニークなプレゼンを計画しています。

- ・説その壱：時刻計→時計
- ・説その弐：「時」を「計る」→時計
- ・説その参：「計画表」→時計
- ・説その四：時間を見積もる→時計

ほんとうは？



## 下諏訪北小学校 4学年

私たち4年生は、6月22日、7月18日、10月3日の3回、同じ地域にある花田養護学校と交流をしました。

1回目の交流では、普段どんなことをして、どんなことを楽しんでいるのか見せてもらい、花田の子たちと仲良くなるためにどんな交流をすればいいのか話し合い、2回目の交流をしました。

3回目の交流では、2回目の交流でよかったことや悪かったことを出し合い、もっと仲良くなれるような交流を考えました。

1回目の交流では、学校の普段の様子を見せてもらいました。



春1組のペープサート



春2組、声の大きさも大切

春1組は、2回目の交流のとき、ペープサートと劇をしました。歓声が挙がって嬉しかったです。春2組は、2回目の交流のとき、もっと大きな声でゆっくり話さないと伝わらないと思い、練習をしました。

夏2組は、最初くじ引きと双六をしましたが、時間をオーバーしてしまい、思うように交流できなかったため、3回目の交流では、体を動かせない花田の友達に代わって、自分たちが素早く行動するようにしました。

夏1組のくじ引き



夏2組の交流

秋1組の双六遊び



秋2組では、最後に花田のお友達と大きなカブの劇を一緒にしました。花田養護学校との交流を通して、相手の気持ちになって考えることや失敗を怖れないことやお互いに楽しんで仲良くなることを学びました。

秋2組の大きなカブ



第2回目。歌を聞いてもらったよ



第3回目。リンゴ狩り



たなばた飾りをプレゼント



### 子どもの様子

- ・前回よりうちとけて表情がやわらかくなった。
- ・前回よりも「見せたい」「やってあげたい」気持ちが感じられた。
- ・おばあちゃんが泣いていた姿を見て、不思議そうだった。

### まとめ・感想

- ・日ごろ接する機会が少ない高齢者との貴重な触れ合いが体験でき、子どもたちはいろいろな人がいることが分かったと思う。
- ・歌ったり体操をする姿を嬉しそうに見てくださるお年寄りの様子から、子どもたちの「存在そのもの」が喜ばれているのだと実感した。

## 下諏訪南小学校 6年3組



みんなで進める中庭開発

### 各部の活動の紹介

環境部：より美しい中庭に



ものづくり部の活動の成果



生物部の活動：池の生き物を増やそう、花を植えよう

私たちの下諏訪南小学校には中庭があります。  
 私たちは、この中庭の環境をよりよくしたい、もっと楽しい場所に整備して全校に楽しんで欲しい、という思いで、「みずべの時間」（総合的な学習の時間）に、中庭開発を進めてきました。そしてそのために、広報部、環境部、生物部、ものづくり部、野外ステージ部の部署に分かれて活動してきました。  
 ○広報部：活動の紹介、遊びの日の設定と全校へ連絡  
 ○環境部：池の藻の除去、鳥の巣箱づくりなど。  
 ○ものづくり部：アスレチックやベンチなどの製作。  
 ○生物部：花を植えたり、池の生き物を増やす活動。  
 ○野外ステージ部：中庭にステージを用意し、合奏団を中心に演奏会を計画・実施。

## 全校に呼びかけ、中庭に招待

予想以上の大盛況。でも大勢の人が来ることで、ゴミが落ちたり、植物が踏まれたり……。いろいろなアイデアを出し合う中、環境学習でプラスチックゴミの問題に出会いました。

私たちの中庭の環境はとてもきれいなのに、なぜここまでゴミがあるのか

中庭から流れ出る川の行方を追って、諏訪湖の環境の学習へ。古川や一ツ浜公園付近の諏訪湖はゴミが少なく、思っていたよりきれいでした。



しかし、諏訪湖クリーン祭で驚くべき光景を目の当たりにした



僕たちの率直な感想

- ・きたない
- ・毎年ゴミが増えている
- ・ゴミ捨て場のような岸
- ・捨てる人が許せない
- ・動物が食べたら大変
- ・ゴミのことを知らせるべき

みなさんへのお願い

**危機感を持ちましょう**

明るく住みやすいきれいな町にしていくために、大人も子どもも協力を。みんなで力を合わせて、自分たちの未来を守っていきたい。

## みずべ保育園

おばあちゃん泣いてたね  
 高齢者施設との交流

### 第1回交流

・体操を見てもらったり、シャボン玉やかえるの歌と一緒に歌いました。童歌で、触れ合い遊びもしました。

### カーサ・デ・ソル諏訪湖との交流

・交流の目的・ねがい

みずべ保育園の園児は大半が核家族で生活していて、高齢者に接する機会も少ない。交流によっていろいろな人との関わりを経験してほしい。



### 子どもたちの感想

- ・握手が楽しかった。
- ・手遊びが一緒にできて楽しかった。
- ・体操を見てもらえて嬉しかった。
- ・「かわいいね」「ありがとう」「かわいい手だね」って言ってくれてうれしかった。



## つながれ ひろがれ 花田高等部

穂乃家さんとの交流(1回目)



穂乃家さんは、学校からすぐ近くにあるご高齢の方のための施設です。全3回の交流では、歌を歌ったり新聞相撲をしました。2回目3回目と距離が近づき、3回目はこんな良い表情になりました。



みんな笑顔の3回目

同世代の高校生、岡谷東高校の生徒さんとの交流です。文化祭の展示に向けて描いていた滝の絵を協力して塗り、完成させることができました。ポッチャの試合もしました。

完成した滝の絵



最後にポッチャをやって、みんな笑顔

ユニバーサルフィールドの方たちとデュアルスキー体験



まさか私がスキーなんて。とても気持ちが良かった。

富士見高原リゾートで始められたユニバーサルフィールド（障がいの有無に関係なく誰とでも楽しめる環境）で、高等部の生徒職員と一緒に活動開始。昨年12月には、2名の生徒がデュアルスキー（パイロットが操縦してくれる着座式スキー）に挑戦。「生まれてはじめて！とても気持ちが良かった」と感想をみんなに話してくれました。

第36回 下諏訪町 保・小・中・特・高 健全育成研究集会

### 地域連携部

「地域連携合同会議」・「社中を語る会」などで

児童や生徒からは...

#### 学校の行事予定を確認する

##### 文化祭、音楽会 など

◆文化祭で作品展。

◆音楽会でのコーラス。

◆アルミ缶の回収。

(基本的に各家庭で出たアルミ缶を回収しているが、生徒の減少もあり各地区で出たアルミ缶も回収できれば、文化祭の運営に役立てるお金が増えます。)

など



### ○具体的な活動の進め方

地域連携合同会議や社中を語る会などで出た意見を参考に、地域のお祭りや敬老会、注連飾りどんど焼き、防災訓練などにどんな形で参加してもらいたいのか決めて参加してもらっている。

### ○ノース下諏訪ネットワークへのおさそい

地域連携合同会議や社中を語る会では、文化祭や音楽会など学校行事の予定や内容も確認して、ノース下諏訪ネットワークへ要望として提出し、活動に繋げている。是非一緒に活動を！

第36回 下諏訪町 保・小・中・特・高 健全育成研究集会

### ノース下諏訪ネットワーク

地域連携で子どもたちと  
町とを繋ごう

## 下諏訪向陽高校

『向陽生と子どもたちとの交流について』

長野県下諏訪向陽高校  
 現3年生が生徒自治会の中心だった平成29年9月  
 から平成30年10月を中心とした本校の取り組み



武居地区の方々が掲げてくださる横断幕



卒業式

← 入学式



本校における地域連携事業

(KTRJ)

本校では、下諏訪町以外から通う生徒が多いが、下諏訪町の方々の温かさに触れ、下諏訪町の方々に恩返しをしたいという思いが自然と生まれています。地域連携の意識も高いです。

### 地域連携事業の紹介

#### (1) 主催事業

- ① 小中学生百人一首教室
- ② 子ども野球教室
- ③ 向陽生と遊んで楽しもう
- ④ クッキー配り・・・他

#### (2) 事業協力

- ① 下諏訪ガーデンプロジェクト
- ② 社会を明るくする運動への協力
- ③ 三角八丁ハロウィンパレード・他

#### (2) 向陽祭

今年の文化祭の試み

『向陽生と遊んで楽しもう』

のおえかきコーナーで

描いてもらった模造紙を休憩室に掲示



向陽生と子どもたちとの交流について

(1) 向陽生と遊んで楽しもう



絵本の読み聞かせの様子



#### 向陽祭とハロウィンパレード

今年の向陽祭ではお絵かきコーナーで描いてもらった模造紙を休憩室に飾り、好評でした。

三角八丁のハロウィンパレードでは、クッキーや風船配りをし、衣装した子どもたちが風船を持って歩く姿に笑顔をもらいました。

(3) ハロウィンパレード参加



(4) 各クラブ等の取り組み

子ども野球教室



かるた部

#### まとめ

これからも地域との交流・連携事業を積極的に推進し、地域と協働する高校を目指すという教育目標をより一層具体的に進めていきます。頑張った証として入学式や卒業式の横断幕を見上げることができれば、私たちの3年間は有意義なものとして心に残り、地元を愛する心につながります。地域に根ざす心を伝統としていくことが、本校の存在意義の一つになってきます。

### ノース下諏訪ネットワーク

地域連携で子どもたちと町とを繋ごう



#### ○ノース下諏訪ネットワークについて

ノース下諏訪ネットワークは、10年ほど前に下諏訪社中学校、同PTA、同OB、地域住民、学校職員などが中心となり、社中学校・北小学校の児童生徒が、これからの社会を生き抜くことができる力を学校・保護者・地域住民が一体となって育むことを目的に組織され、大きく学習支援部、地域連携部、広報部の三部会に分かれ、様々な活動を行ってきています。

#### ○地域連携部の活動について

各地区・地域…各区の公民館活動などへ多くの児童・生徒に参画してもらいたい。

児童・生徒…いろいろな学校行事に多くの地域住民の皆さんに参画してもらいたい。

→学校と地域をつなぐ活動をしている。

第36回 下諏訪町・小・中・特・高 総合教育研究集会

#### 地域連携部

～各地区の希望～  
 各区の公民館活動などへ、多くの児童・生徒の皆さんに参画してもらいたい・・・

～児童・生徒の希望～  
 色々な学校行事などへ、多くの地域住民の皆さんに参画してもらいたい・・・

～学校と地域を繋ぐ活動～

「地域連携合同会議」・「社中を語る会」などで意見を聞く

## 松崎教育長の講評



皆さんこんにちは。第36回、保・小・中・特・高健全育成研究集会、本日は子どもたちの発表を主とした「元気な（G）、しもすわっ子（S）、学びの発表会（M）」に、多くの方にご参加いただき開催できたことを心より嬉しく思います。

子どもたちが地域とのかかわりの中で学んだことを中心に、分かりやすいプレゼンテーションを通して、劇やユーモアも交えて楽しい発表をしていただきました。

北小学校では、花田養護学校との3回の交流を通して、相手のことを考える学びのあり方について。南小学校では、校内の取り組みの発展として諏訪湖の環境への働きかけについて。社中学校では、地域起こし協力隊の皆さんとの連携も含め地域の人全員で取り組むことの大切さについて。下諏訪中学校では、地域とかかわりながら学んだ総合的な学習、地域と共に歩む下中生でありたいというお話をいただきました。みずべ保育園では初めて保育園発表を入れていただき、老人ホームの皆さんとの温かな交流について。花田養護学校では、高等部の皆さんが地域との交流・体験を重ねる中で笑顔が増えていったというお話。向陽高校では、地域と共に歩む学校教育目標の一環として、向陽生と子どもたちとの交流について。ノース下諏訪ネットワーク地域連携部の代表の方から、学校と地域とを繋ぐ、子どもたちと一緒に創りあげてきた取り組みについて、などです。

短い時間ではありましたが、今日の発表が素晴らしかったことを大いに誉め認めていただきながら、子どもたちの活動の価値について、それぞれのお立場で、ご理解いただきながら子どもたちを応援していくことこそ、真の意味の健全育成につながるのではないかと思います。

本日の研修会が町の子どもの明日からの健全育成に反映されること、それから参加された皆さんお一人お一人の益々のご健勝とご発展をお願い申し上げまして、講評とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

## フロアからの感想発表

（フロアから）

○発表する子どもたち、生徒の皆さん、皆さんの笑顔が、写真から、発表している皆さんから感じられて、とても温かい気持ちになりました。発表してくださった皆さんに、本当に感謝したいと思います。子どもたちの輝きを、私たち大人がどう支えていくのか、もつともつと考えていきたいなど改めて思いました。ありがとうございました。

○これだけ地域に関わる小・中・高・特別養護学校というのは、なかなかないんじゃないか。こうやっている中で、地域のために何ができるか、子どもたち、小・中・高校生で考えるのは非常に良いなあ、大事なことだなと思いました。

（参加者の感想から）

○それぞれの立場で地域とつながっていくことの大切さ、関わっていく大切さを実感し、子どもたちの成長を感じた。温かい気持ちになった。

○多くの人が参加していて良かった。保護者も多くて良かった。

○花田の生徒さんのスキー体験、本当に嬉しそうなのが良かった。もつと身近で支援が入れば良い。

○発表会なので、保護者はもちろん、町民の方にも知ってもらいたい。

○ブース形式にして、双方の時間になっても良い。

○発表会の必要性の有無、研究のあり方を幅広く意見を集めながら考えていくべき。子どもたちの必要に応じた研究がよいと思います。

# ブックカフェ 2018 へ ようこそ

秋の深まりを感じさせる11月の一日、今年のブックカフェが盛大におこなわれました。お天気にも恵まれ、大勢の方が“読書”に“お茶”に親しんでいました。



まずはなにやらあやしいお兄さん二人組の登場です。手品の披露です。



ビブリオトークもありました



「願いがかなうふしぎな日記」ステキなポップの紹介もありました。



がいっつも登場



ブック（本）とカフェ（お茶）が一緒に味わえるのが、ブックカフェ。ご来場ありがとうございました。

向陽高校のお兄さんたちによる大型絵本の読み聞かせもありました。



## 11月の歌

### 追憶の歌

今は、高気密高断熱のぼかぼかの家の中で、寒さを感じない人も多いが、私が育った茅葺きの家は、朝起きると頭の毛が凍り付いていたことも。あの頃は、寒中休みというものがあつた。下諏訪小学校から諏訪湖へ向かう道は田んぼばかりで、すずめが多かったことを覚えてる。石を投げれば一匹くらい「絶対当たる」と確信し石を投げるが一つも当たったことはなかった。

雪が降れば竹を切り、斧で割って先を炙り、スキーにして家の前の坂道で遊んだ。

2月の朝6時は暗い。早起きしてスケート靴を履く。スケートを履いたまま、家の前の坂道をリンクへ向かう。今では考えられない。その距離百メートル。5分もかからずに田んぼに着く。あたりはまだ暗い。昔は夕方から夜8時くらいまで滑れたから夜間照明があつた。それを勝手に点け、赤旗を降ろして滑っていると、PTAのおじさんに怒られた。リンクでは竹ぼうきを持ち出しアイスホッケーを始める。迷惑になるから「止める」と怒られるが止めようとしな。家に帰るとスケートの刃がダメになると母に怒られた。が、今でもたまたま秋宮リンクで滑るわたしがいる。

(本山 祥弘)